

法人理念		子ども一人ひとりを大切に、保護者に信頼され、地域から愛される施設を目指します。			
支援方針		子どもが楽しく取り組む遊びの中に、今の本人にとって一番必要な課題があると考え、自由に自己表現をできる遊戯療法を基に療育を行います。利用者親子との1時間の個別療育の中で子どもの特性に合わせたアプローチで療育を行い、保護者が家庭でも参考にして取り組めるよう支援します。必要であれば、個別に加え、親子同室の少人数グループ療育も併せて提供します。			
営業時間		8 時	0 分	から	18 時
		0 分	まで	送迎実施の有無	あり なし
支 援 内 容					
本人支援	健康・生活	保護者から家庭での過ごし方や、生活の中での困りごとを聞きとり、改善のために必要な課題に取り組みます。家庭でできる対処を保護者ととも考え、提案することで基本的な日常行動(食事、排せつ、外出など)の改善を目指します。			
	運動・感覚	好きな遊びをする中で、手先の動きや体の使い方などの課題に楽しみながら取り組めるよう工夫します。感覚面の特性や身体の使い方の不器用さに応じて、感覚刺激や協調運動遊びを取り入れます。(スライム、はなはじき、トランポリンなど)			
	認知・行動	好きな遊びをする中で、色や形、手順やルールなどに目が向き、物事の理解が深まるよう指導員が分かりやすく説明します。好きな遊びを指導員と一緒にする中で、子どもそれぞれに応じた課題に取り組むことができるよう関わります。			
	言語 コミュニケーション	言葉や身振り、発声など、子どもが真似やすい方法で気持ちを代弁して見せ、自分の気持ちを表現する力をつけていきます。指導員が気持ちに寄り添いながら遊ぶことで自分の思いが伝わる経験を積み重ね、他人とのやりとりを楽しめるようにしています。			
	人間関係 社会性	指導員が子どもの気持ちに寄り添いながら遊び、安定した関係を築きます。相手の気持ちや周りの状況、ルールなどを子どもに分かりやすく提示し、他人とのやりとりを楽しく学べるように遊びます。少人数グループでは、他児とのやりとりや、簡単な設定保育を経験できるようにしています。			
家族支援		療育の中で家族の相談にも応じています。別室で保護者の相談を受けることや、電話で対応することも行っています。		移行支援	現在の所属園での状況を把握し、次の進路に向け必要な力をつけるよう支援をします。また、社会資源や地域の情報を提供し、子どもにとってより良い選択ができるよう保護者とともに考えます。
地域支援・地域連携		必要に応じて、子どもが通う幼稚園や保育園、併用事業所などと、子どもへの対応について情報共有します。		職員の質の向上	職員全員で定期的にカンファレンスを行い、様々な観点から療育方針を検討し、療育内容の向上に努めます。指導員は必要な研修に積極的に参加し知識の向上を目指します。
主な行事等		就学説明会 ： 年長児の保護者対象に、毎年6月頃に尼崎市の教育委員会の方を招いて就学までの流れなどの説明を行います。 講演会 ： 開催時期は未定ですが、保護者向けの講演会を企画します。			